

## 時空の漂泊

(二〇一一年一月十八日 第四十五号)

高橋 滋

### 広島便り

### 二〇一〇里山を歩こう (十一)

#### 身近な自然観察

秋の野の花 十月七日(木)



キンポウゲ科センニチソウ属。  
[http://homepage.mac.com/r\\_yoshiyuki/hana/hansyouduru.html](http://homepage.mac.com/r_yoshiyuki/hana/hansyouduru.html)

秋が深まって、林地の下に咲く花

が季節を迎えている。ハンシヨウヅル(半鐘蔓)。花が凄く大きい。「クレマチスみたいです」人と人説明して、後で図鑑を調べたところ学名がクレマチスジャポニカとなっていた。



<http://ja.wikipedia.org/wiki/クレマチス>  
<http://sya.sakura.ej.jp/web/chizu/mtubakoojisu.htm#http://homepage2.nf>

ミツバコトジソウ(三葉琴柱草)の

群落。薄暗い林の中で、ぱっと明るくなる。こちらも「サルビアのようで」と説明していて、調べたところサルビアニッポニカになっていた。



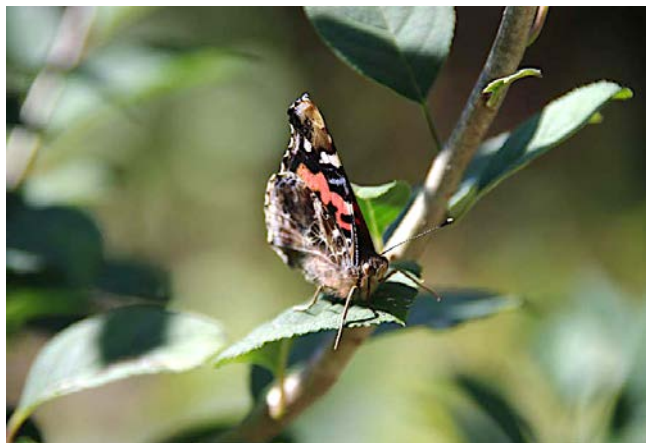
<http://sya.sakura.ej.jp/web/chizu/mtubakoojisu.htm#http://homepage2.nf>  
<http://ja.wikipedia.org/wiki/サルビア>

少しはなれたところに、ツルリンドウ  
(蔓竜胆) が。あまり目立たないが、よ  
く見るときちんとしている。これにもジ  
ヤポニカムの学名が。 みんな日本の  
秋を代表する花に見えてきた。



<http://ja.wikipedia.org/wiki/リンドウ科>  
<http://rokoflower.cool.ne.jp/souhon/sub824.html>

アカタテハ (赤立羽) 十月十日 (日)  
アカタテハが来た。 ヒメアカタテハは  
かなり頻繁に来るが、アカタテハは少な  
い。色が濃い。



<http://ja.wikipedia.org/wiki/アカタテハ>  
<http://ja.wikipedia.org/wiki/ヒメアカタテハ>

マンサク (満作) 十月二十二日 (金)  
園地のマンサク (植栽品) が花を付  
けた。 狂い咲きなのか、夏の暑さで季節  
が前倒しになってしまったのか。



落葉小高木。  
<http://ja.wikipedia.org/wiki/マンサク>

クロモジ（黒文字）なども蕾が大きい

くなって、咲きそうになっている。

チャノキ（茶の木）の花が咲いている。

サザンカ（山茶花）も咲き始める。

チャノキの学名はカメリアシネンシ

ス。サザンカはカメリアササンクアであ

り、同じ仲間である。



落葉低木。  
<http://ja.wikipedia.org/wiki/クロモジ>  
<http://ja.wikipedia.org/wiki/チャ>

ツリバナ（吊り花） 十月二十六日（火）

十月のはじめ、小さな木からぶら下が

っている五弁の実を見つけた。図鑑で調

べて「サワダツ」（沢立）ではないかと

見当をつけたが、その後、早めの紅葉が

美しく、調べ直して、「ツリバナ」と知

った。



<http://ja.wikipedia.org/wiki/サザンカ>  
<http://shinin.cool.ne.jp/sub284.html>  
<http://shinin.cool.ne.jp/sub199.html>

周辺を見ると、幼樹が一杯生えてい

る。赤松が枯れて明るくなって、こうい

う落葉樹が勢いを得ているようだ。クロ

モジ（黒文字）やハギ（萩）の黄色が里

山の裾を明るくしている。







ツルリンドウ（蔓竜胆）の実が赤くな  
った。ことしはドングリも少ないが、山  
の木の実もきわめて少ない。貴重な  
いろどりである。



夕方、自宅で大きな虹が出た。太陽が  
低いのでアーチがくつきりと見えた。そ  
して、もう一つ、ぼんやりとしたアー  
チ。アーチが二重にかかっていた。



クリスマス飾り 十月二十九日（金）  
林を整理したら普通とは違うツル  
（蔓）がたくさん出てきた。一つは葉形  
から「アオツズラフジ」と推定したが、  
今度、花をきちんと確かめたい。クリス  
マス飾りは山に材料がないので、庭のも  
ので作った。